100億宣言　株式会社スズミ（製造業）



白河工場

〇本社所在地：神奈川県横浜市都筑区
〇事業概要：精密板金・塗装・シルク印刷
〇常時使用する従業員：80名
（2025年10月時点）
〇現在の売上高：12億円
（2025年10月期）
〇法人番号：4020001020652
〇Web：https://www.suzumi.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
鈴木　雄一

「加工会社」から「高付加価値製造パートナー」へ転換し、顧客の製造ラインを支える存在となる。

当社は1969年の創業以来、精密板金・塗装・シルク印刷の社内一貫生産で、半導体製造装置や医療機器のものづくりを支えてきました。半導体・医療・防衛・自動化の分野で大きな市場成長が見込まれる中、今後は「加工会社」から「高付加価値製造パートナー」へ転換し、組立事業、AGV事業、M&Aにより事業を拡大します。2035年に売上高100億円を達成し、120名の新たな雇用を創出して、その成果を従業員と地域社会に還元します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2035年に売上高100億円を達成する。2025年10月期の12億円から、年平均約24%の成長となる計画。



課題

・生産能力と人材
採用・育成と、生産拠点の拡張が必要
・組立機能の立ち上げ
部品加工から組立へ広げるため、検査・品質保証の体制の構築
・新事業の製品化と販路
AGV事業の設計・開発体制と、販売体制の構築

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

既存事業の高度化、新規事業、M&Aの三本柱で売上高100億円を実現する。既存事業では、半導体製造装置と医療機器の分野で、精密板金・塗装・シルク印刷の社内一貫生産に組立工程を加え、部品から組立までを一括で受託する体制へ転換する。増産要請が続く半導体製造装置を中心に、防衛関連の受注拡大も取り込み、40億円規模を目指す。新規事業では、AGV（無人搬送車）を大手専門商社と共同開発する。搬送自動化の需要を捉え、自社工場で実機検証を重ね、国内外へ展開して、15億円規模の事業に育てる。また、M&Aによりグループとして30億円規模の売上を上積みする。

実施体制

生産体制の増強では、第1ステージとして約10億円を投じて白河工場に第三工場を建設し、ロボットベンダーや溶接機など、自動化対応の加工設備を導入する。これまで進めてきた工程の自動化をさらに推し進め、組立工程の受け皿となる生産能力の確保と、継続的な生産性の向上を両立させる。2028年までにAGVの製造・検証を担う人材の採用と育成を進める。組織面では、組立部門とAGVの製造・検証チームを新設し、M&A後の統合を担う専任体制を整える。AGVは商社と共同開発し、販路開拓も連携する。

※本宣言は企業自身がその責任において売上高１００億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです